

2023 年年頭の挨拶

新年明けましておめでとう御座居ます。旧年中は大変お世話になり有難う御座居ました。本年も宜しく願い申し上げます。

国内外に目を向けますとコロナ渦は収まる気配がなくまたロシアのウクライナ侵攻も年を超えました。為替レートでは一時 150 円と円安にシフトし現在は 130 円前後に落ち着いていますが、エネルギーを輸入に頼る弊社は国際社会を注視しつつ業務の遂行せねばなりません。昨年は創業 100 周年を迎え販売量、売上とも過去最高を達成出来そうです。これを弾みに石炭、石油、天然ガスと熱変の変遷を経た次の 100 年、その第一歩の年はグリーン水素と二酸化炭素から都市ガスを製造する e-メタンが国の施策として検討が始まりました。CN 宣言から 3 年を経た今日、青写真が具体化しつつあり、通常の業務と新しい熱変への対応、言い換えますと現実と未来二つを緊張を持って挑みます。そのために本年も下記重点項目 3 点を掲げ推進してまいります。

1. 現有資産の有効利用
2. 財務体質の強化
3. 人材育成

1.の項目は既存導管設備利用や設備運営技術が含まれ、津山圏域を包括した提案となります。今年は行政が CN 部署を新設予定であり、ようやく前に進んだ感がありますが、私どもは水素、CO₂ 利用、排熱利用など基本スタンスは変わりません。

次に 2.の項目ですが一番の目的は次の熱変に備え黒字体質を構築することにあります。そして 1.2.を実現するための最重要項目である 3.人材育成。四文字の簡単な熟語にはオブラートされた多くの思いが内蔵されています。組織活動、個の活動、人材の評価等々。通常の仕事と新しいことへのチャレンジは口で言うほど楽ではありませんが前述した現実と未来“二つの緊張”が必要です。GX、DX への対応は育成する立場も取得する立場も深化の程度こそ異なりますが、身につけねばならないやさしい基本が必要です。一人ひとりが正しいと信じ躊躇することなく次の 100 年の密林を切り開く精神こそが大きな駆動力の源であると確信しています。

最後になりますが、公共事業としての使命達成のため、お客さまへの安全供給、保安の確保とサービス向上をはかり社業に邁進する所存です。皆さまのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和 5 年 1 月 5 日
津山ガス株式会社
取締役社長 荻田 善嗣